

創成川がよみがえった都市のリザーブ 人びとを散策に誘うアート

創成川公園は札幌を南北に流れる創成川のアンダーパス化事業で、南4条から北1条まで続く全長820mを整備した都心の遊歩道公園。水辺にも降りていけるよう階段も設けられ、遊歩道脇はライラックが彩っている。その緑地をつなぎ、人びとを散策に誘うためのアートワークの基本計画とアーティスト案を策定した。

コンセプト

①まちと人をつなぐアート

- ・人が自然に集まる、驚きと楽しさにあふれた魅力的な空間を創出する。
- ・主要な結節点やその広場空間を独自の魅力を発する場とする。
- ・人と人との交流を誘う、体験型のアートワークを設置する。

②札幌を表現するアート

- ・札幌のまちの持つ多様な歴史、自然、文化などを表現する。
- ・整備エリアの7つのブロックを一連の空間としてつなげる役割を果たす。
- ・個々の作品は、人と水辺を結びつけ、関連しながら全体として「物語の軸」を形成する。

手法

・作家の選考と作品内容の監修は「創成川アートワーク委員会」が行い、団塚栄喜、西野康造、安田侃を選考した。

各作品は、公園全体を歩きながら、この場所の歴史や物語が感じられる体験型の配置となっている。